

口腔癌の幹細胞性に関する研究

1. 研究の対象

2010年から2024年12月にかけて当院顎顔面口腔外科学講座（旧口腔外科学第一講座）にて口腔癌と診断され、治療を受けた患者様。

2. 研究目的・方法

口腔癌の再発や転移といった予後不良因子には癌幹細胞と言われる細胞が深く関わるといわれていますが、口腔癌に関してはその存在やメカニズムがわかっていません。本研究では手術で摘出した組織での遺伝子発現をいくつかの候補遺伝子の中から調べることで、口腔癌における幹細胞性の特徴を調べます。研究期間は2030年9月30日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

手術で摘出した組織のブロックを用いて免疫組織化学染色を行い、発現の強さや部位等を調べます。手術のみ行った患者様だけでなく、手術前後で放射線治療や抗がん剤治療を行った方も対象に含みます。免疫組織化学染色を行うもののみ組織のブロックを扱います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-8

TEL：06-6879-2936

担当者（研究責任者）：大阪大学大学院歯学研究科顎顔面口腔外科学講座 内橋俊大